



TCA

— NEWS —

Vol.88 8月号

発行

富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会



外国語ボランティア養成講座 (前期)

富山空港 etc.



総合防災訓練に 語学ボランティアとして参加しませんか!

日時：9月30日(土) 午前9:00~12:00

場所：アルペンスタジアム (富山市下飯野 30-1)

 内容：災害多言語支援センター設置・運営訓練、
避難所での巡回訓練 他

 対象：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語での
会話が可能な方

締切：9月7日(木)

〈事前研修会〉 日時：9月9日(土) 13:30~15:00
場所：富山市国際交流センター

募集中です!!

外国語ボランティア養成講座 後期

対象言語：英語、中国語、韓国語、ポルトガル語

日時：①10月28日(土) 13:30~15:00

②11月25日(土) 13:30~15:00

③ 1月27日(土) 13:30~15:00

場所：富山市国際交流センター

 内容：外国人をサポートするために必要な表現や
語彙、文化の違いを学びます。

対象：会員 / 受講料：無料

定員：各言語 20名程度

国際交流フェスティバル2017ボランティア募集

国籍を越えて「異文化理解と交流」をテーマに、富山駅とCiCの2会場で開催します。
世界各国の紹介、踊りや音楽の披露、国際交流・協力団体の紹介など多彩な内容となつて
います。皆さんも企画・準備段階から関わり、フェスティバルを楽しんでください!

♥日時 11月12日(日) 10:30~16:30

♥会場 富山駅構内・CiCビル

♥内容 ①ステージパフォーマンス(出演者受付、誘導、舞台準備)
②会場係(設営、警備、ゴミ収集等) ③体験コーナー係

♥募集人数 20名程度

♥申込 国際交流フェスティバル2017実行委員会(事務局) 富山市民国際交流協会



平成29年度 富山市民国際交流協会理事会・総会報告

理事会は、4月27日（木）富山市国際交流センターで開催し、総会提出議案等について審議・承認されました。総会は、5月24日（水）会員50名が出席し、開催しました。

はじめに、高木会長から、人的ネットワークだけでなく、SNSを活用して、より多くの外国人に当協会のイベント情報を発信していきたいと挨拶されました。その後、富山市長 森 雅志様（代理 今本副市長）からご祝辞をいただきました。

議事では、平成28年度の事業報告、収支決算・監査報告、平成29年度事業計画案・収支予算案、役員の選任案がそれぞれ原案通り議決されました。



◆ 平成29年度 年間事業計画及び収支予算 ◆

1 事業方針

日本人と外国人がともに安心して暮らせるよう、会員の協力を得て次の三事業に積極的に取り組んでまいります。

- (1) とともに生活する外国人を身近に感じることのできる「国際交流」の推進
- (2) 在住外国人の支援を軸とした「多文化共生」の地域づくり
- (3) 市民交流の原動力となるよう「国際感覚豊かな人材の育成」

2 理事会・総会・正副委員長会議等

- (1) 理事会 4月27日（木）
- (2) 総会・講演会・懇親会 5月24日（水）
- (3) 正副委員長会議 年4回開催

3 多文化共生事業

- (1) 国際交流事業
 - ① 富山まつり「越中おわら踊り」に参加 8月 5日（土）
 - ② 国際交流フェスティバル2017 11月12日（日）
 - ③ 新春国際交流のつどい2018 1月21日（日）
 - ④ 国際交流・協力団体の支援
- (2) 日本語学習支援事業
- (3) 外国籍児童・生徒への学習支援事業（勉強お助け隊）
- (4) 防災のための体制作り

総合防災訓練に参加 9月30日（土）
- (5) 外国語ボランティア養成講座
- (6) 観光サポーター研修支援事業 新規
- (7) 相談事業
- (8) 私たちの活動説明会 2月24日（土）
- (9) 中学生のための英会話積極性向上事業
- (10) ポルトガル語講座（MPBで学ぶ）
- (11) 韓国語ボランティア講座（中級レベル）
- (12) 韓国文化紹介講座 新規
- (13) 多文化共生社会づくりのための映画上映会事業 新規
- (14) 国際交流関係会議等への出席

北陸都市国際交流連絡会総会・研修会 7月7日（金）

4 語学講座事業

- (1) 中国語初級 週1回 1クラス 30回
- (2) 韓国語初級 週1回 1クラス 30回

5 ボランティア登録対象の拡大

6 総務企画委員会

- (1) 国内研修 6月25日（日）～26日（月）
- (2) 国際交流TCAカレッジ

7 姉妹友好都市委員会

- (1) 海外研修
- (2) 姉妹友好都市等訪問団員との交流会
- (3) 姉妹友好都市研究講座 新規

8 文化交流委員会

- (1) 日本伝統文化等の紹介
- (2) 交流会

9 ボランティア委員会

- (1) 交流会
- (2) ホームステイ・ホームビジット
- (3) 海外ボランティア活動への支援
- (4) 災害時義援金募金・リサイクルバザー

10 広報・組織強化委員会

- (1) 会報TCA-NEWSの発行
- (2) ホームページによる情報提供
- (3) 組織強化（学生参加による）

11 国際教養委員会

- (1) 一般研修講座（13講座）
- (2) ディスカバー富山
- (3) 通訳やガイド協力

◆ 収支予算について ◆

< 収 入 >		< 支 出 >		(単位: 円)
科 目	予算額	科 目	予算額	
1 会費収入	1,920,000	1 管理費	11,765,000	
		(1)会議費	502,000	
		(2)人件費	10,333,000	
2 事業収入	1,732,000	(3)管理諸費	930,000	
		2 事業費	5,995,000	
3 補助金収入	14,003,000	(1)多文化共生事業費	3,389,000	
		(2)総務企画事業費	616,000	
4 寄附金	10,000	(3)姉妹友好都市交流事業費	369,000	
		(4)文化交流事業費	201,000	
5 雑収入	97,017	(5)ボランティア事業費	118,000	
		(6)広報・組織強化事業費	602,000	
6 繰越金	983	(7)国際教養事業費	340,000	
		(8)語学講座事業費	360,000	
		3 予備費	3,000	
合 計	17,763,000	合 計	17,763,000	

※総会資料は事務局にあります。

総会講演会

- 演題 「幸福度世界一とイノベーションの国デンマークの教育事情」
- 講師 伊藤 通子さん 東京都市大学環境学部客員研究員
(特活) 持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）事務局長

長年の富山高等専門学校勤務から東京の大学の研究員へと転身をされた伊藤通子さんが、上の演題で講演をされました。以下はその要点。

自然が厳しく土壌も肥沃でないこの国が世界に伍して行くにはやはり教育が大事と考え、デザインの国らしく教育もそれに向けて初等から高等教育のすべての段階で大胆にデザインし、それを全国で実行した。

それは、個々の生きる力を伸ばし、競争よりも協力と合意形成のスキルを養成することを主眼とする。その為には単に知識を教え込むのではなく、生徒自らが問題の存在に気づき、グループ討議を通してその解決を目指す中で、周りと協力しながら、充実した人生と豊かな社会を作り上げることができる個人が育つという考えである。その社会とは、将来の世代のニーズを損なわず現代の世代のニーズを満たす、持続可能な開発を実現する社会である。



役員等名簿

役職名	氏名	所属団体等	役職名	氏名	所属団体等
名誉顧問	森 雅志	富山市長	理事	岡田 昌代	ウイメンズ ウイング トヤマ会長
〃	犬島伸一郎	前富山市民国際交流協会会長	〃	石野まり子	富山市民国際交流協会総務企画委員長
顧問	小川 弘	前富山市民国際交流協会副会長	〃	村田 善市	富山市民国際交流協会姉妹友好都市委員長
会長	高木 繁雄	富山商工会議所会頭	〃	堀田 順子	富山市民国際交流協会文化交流委員長
副会長	近藤 裕世	富山商工会議所女性会会長	〃	今井 史子	富山市民国際交流協会ボランティア委員長
〃	新田 八朗	日本海ガス(株)取締役社長	〃	大森 茂	富山市民国際交流協会広報・組織強化委員長
理事	松野 公俊	(株)北陸銀行 国際部 担当部長	〃	高岸 睦夫	富山市民国際交流協会国際教養委員長
〃	河本 浩一	北陸電力(株)執行役員・富山支店長	〃	豊島 栄治	富山市文化国際課主幹(国際交流係長)
〃	畑中 保丸	富山大学理事・副学長	監事	稲葉 遵子	国際ソロプチミスト富山会長
〃	尾畑 納子	富山国際大学現代社会学部学部長	〃	河原 順子	富山市民国際交流協会 元事務局長
〃	濱谷 一男	富山市中学校校長会会長	参与	小川 光夫	富山市民国際交流協会 元事務局長
〃	砂田 友和	富山市文化国際課課長	〃	町村 紀弘	〃
〃	養輪 寿宏	富山商工会議所青年部会長	〃	場家 英範	〃
〃	白山 肇	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	〃	杉田 哲夫	〃
〃	中田 陽子	富山市美術作家連合会事務局長	〃	高田 誠治	〃

団体・法人会員

(五十音順・敬称略)

朝 日 建 設 (株)	とうざわ印刷工芸(株)	富山テレビ放送(株)
ウイメンズ ウイング トヤマ	富山駅前開発(株)	富山日景ニューランド協会
(株)大阪屋 ショップ	(株)富山エクセルホテル東急	(株)なかに印刷
近畿日本ツーリスト(株)富山支店	(株)富山県義肢製作所	日本海ガス(株)
(株) グ ラ フ	富山県青年海外協力隊を育てる会	阪 神 容 器 (株)
国際ソロプチミスト富山	富山県日台親善協会	(株) ホ ク タ テ
五 本 水 産 (株)	(一社)富山県労働者福祉事業協会	(株) 北 陸 銀 行
サクラボックス(株)	富山市日中友好協会	北陸電力(株)富山支店
(株) サ プ ラ	富山市美術作家連合会	(株) 源
(株)JTB中部 富山支店	(株)富山市民プラザ	(株) 宮 本 工 業 所
(株) 松 栄	富山商工会議所	名鉄観光サービス(株)富山支店
武内プレス工業(株)	富山商工会議所女性会	(公財)ラポ国際交流センター
立山科学工業(株)	富山商工会議所青年部	

◆ 会員募集中! ◆

富山市民国際交流協会では、国際理解・国際交流や多文化共生のための事業を開催しています。一緒に活動してみませんか! 入会をお待ちしています。

- ★各種イベントに参画できます。
- ★各種講座の優待や研修会に招待します。
- ★協会広報誌「TCAニュース」をお届けします。

ほかいろいろあります。

〈年会費〉個人会員	3,000円
家族会員	5,000円
法人・団体会員	10,000円

第24回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会 7月7日(金) 富山市国際交流センター/参加者68名

北陸地区の国際交流・国際協力・多文化共生に関わる活動者が、それぞれの課題解決を目指して情報交換と相互研修を行いました。

多文化共生事業

外国語ボランティア養成講座前期 「おもてなし」編

第1回 5/27(土) 参加者59名

まず外国人と交流するときの心構えについて、青山景子さんに「外国人へのおもてなしとは?」という演題で講演をしてもらった。全く考え方の違う人たちにどのように理解してもらえるかは並大抵のことではないということに改めて気づかされた。そのあと、第2回の空港での実地訓練に向けてそこで考えられる言い回しの練習をした。空港の案内図をみながら、実際にそこに行った時のことをイメージして様々な表現に励んだ。

《お話》「外国人とうまくコミュニケーションがとれるようになるOMOTENASHI」

講師 青山 景子さん
富山市広報課 富山市地域づくりマネージャー
(株)ANA総合研究所 富山市派遣

第2回 6/24(土) 参加者78名

先月の富山空港案内の座学に引き続き、現地の空港内で実際に近い形で外国人に案内する練習が行われた。まず空港担当者から詳しく空港ビルについての情報や外国人によく聞かれる質問などについてレクチャーがあった。

次に、韓国語・中国語・英語の7班に分かれて、班に一人ずついる外国人の質問に答えたり、自ラ話しかけたりしていた。いつも利用している空港だが知らないことも多く、参加者にとって実のある研修となった。

《お話》「富山空港案内所での問合せについて」
富山空港ターミナルビル(株)

竹林 雅典さん、高岡 千春さん

第3回 7/29(土) 観光地への交通機関 参加者78名

新幹線開通以来交通の大結節点となった富山駅ですが、そこから発する様々な交通機関をまとめた表に基づき、外国語でガイドできるようになるのが今回の目的である。

まず、観光案内所の方に多くの観光客からの問合せについて話をしてもらった。

次に、言語ごとに分かれて研修に入った。今までボランティアガイドの研修を積んできたので、その表現には慣れている人が多く、積極的に外国人講師に話しかけたり質問したりする姿が見られた。

《お話》「富山駅観光案内所での問合せについて」
富山市観光協会 観光案内所

大川 愛子さん

<第1回>5月15日(月)
ブラジルのロックを歌いましょう!

ブラジルのロックバンドの99%は、首都ブラジリアで生まれているそうだ。なぜか? ブラジリアは、森を切り拓いて計画・建設された人工的な町だ。新しい町に政府関係者とその家族が移住した。歴史も文化もまだなく、娯楽の少ない町で、若者は退屈しのぎに週末、公園に集まって歌った。そこからバンドが生まれた。抑圧的な社会構造へのやり場のない憤懣と反抗をロックの発生源とする常識を、ブラジリアの裕福で教養のある若者たちは軽々と跳び越えて、自分達のロックを世に問うた。課題曲はレジアオン・ウルバーナの「失われた時間」。

<第2回>6月12日(月)
ブラジルのトロピカーリアを歌いましょう!

トロピカーリアは、1960年代後半にブラジルで起きた、音楽を中心とした芸術運動。その中のA Cor do Som (音色)の「Palco (舞台)」という楽曲を取り上げた。A Cor do Somは、ブラジルでは珍しい、正規の音楽教育を受けた演奏家集団。作詞は、有名なGilberto Gil (ジウベルト・ジウ) という説もあるが、殆どがアフリカに結びつくフレーズで構成され、自らのアフリカ系の血への誇りを謳っている。「太鼓」はイメージできても、「パウダー」や「瓶 (かめ)」という言葉のアフリカっぽさは、ブラジルにおけるアフリカ由来文化の解説を講師から聴いて、初めてわかったことだった。

<第3回>7月10日(月)
カラオケにあるブラジルの曲を歌いましょう!

前回に続いてGilberto Gil (ジウベルト・ジウ) が作った曲。「Cores Vivas (鮮やかな色彩)」は、一言で言えば、南の島で夏休みを楽しんでいる友達がよこした絵葉書みたいな歌だ。単純な歌詞は、青い空と海、いかだ舟、釣り人、ゆっくり暮れてゆく太陽に椰子の林…とくる。このありきたりの集大成は、もはや王道と呼ぶべきか? 絵に描いたような景色の中で、渚の波に足を洗われて五感を解放する以外、何もしない贅沢。誰もが心に抱くバカンスの甘い夢だけど、この夏本当に実現するのはだれ? 私? 私はこの曲をカラオケで歌うだけだ。しかも一人で。

韓国文化紹介講座

5月20日(土) 講師 姜 慶淑さん

映像での説明は、とても分かりやすく今まで知らなかった生活模様や習慣等をたくさん知ることができました。まず最初に驚いたことは、最も近い対馬から50kmしか離れていなくて2時間で行けることでした。次に韓国の伝統衣装の「ハンボク」は日本の着物とは違いますが、艶やかさはどこか似ているように思います。またキムチに使われる「とうがらし」は、日本から韓国に伝わったと知ってちょっと嬉しかったです。このように韓国と日本の似ている文化を知ることによって、より一層の親近感を感じました。

委員会報告

総務企画

国内研修

6月25日(日)~6月26日(月)

研修には24名が参加し、(公財)神戸国際協力交流センター及び(公財)西宮市国際交流協会を視察しました。協会の概要や特色ある事業などについて説明を受けました。中でも災害時の外国人支援体制や通訳ボランティアについては、阪神淡路大震災を経験されているが故の内容に学ぶものが多くありました。

国内研修に参加して 布村 浩志

(公財)神戸国際協力交流センターでは、国際協力機構(JICA)との連携、多文化共生事業として外国人市民のための生活相談や日本語学習の支援、公的機関への同行通訳・災害時通訳ボランティアの登録、留学生支援などの事業の説明がありました。当日は、学習室一杯にボランティアの方が外国人市民に日本語をマンツーマンで活発に教えている光景を目の当たりにし感心しました。また、災害時の通訳やボランティアに関しては、神戸市だけでなく近畿地域の地域国際化協会で協力協定を結んでいるそうです。外国人市民へのサポートと市民レベルでの国際交流を進めていると感じました。

(公財)西宮市国際交流協会では、多文化共生として日本語学習支援のボランティア自主活動事業、外国人の防災関連事業、姉妹友好都市団体への支援について説明がありました。姉妹友好都市関係は、基本は市民団体で何10周年などの節目には相互に訪問しているそうです。協会が力を入れている国際交流推進事業の「地域とつながるプロジェクト」は、夏祭りや地域のイベントを外国人やボランティア向けに広報して、協会が直接行政や地域との信頼関係を作ること努力しておられる印象を受けました。協会の方の説明で平時時も災害時も地域と外国人との関係が良ければ、外国人は「要援護者」ではなく「地域の活力となる」という言葉に共感しました。



ボランティア

韓国の民族衣装「ハンボク」を着てみよう!

5月13日(土) 参加者16名 講師 姜 慶淑さん

ハンボクは「韓国の服」という意味です。デザインは和服と違ってシンプルなので、とても着心地がよくしかも短時間で着る事が出来ました。集合写真では、色とりどりの鮮やかなハンボクで、皆さんの嬉しそうな笑顔と共に部屋中がパツと明るくなりました。



ゆかた着付け教室

7月30日(日) 参加者15名

参加者には、協会が準備したゆかたの中から好きな色や柄のゆかたと帯を選んでもらいました。その後着付けを指導して下さった6人の方達の手際の良い手助けで、予定の時間より1時間も早く着ることができました。

そして8月5日の富山まつりで踊るおわら踊りを八尾出身の川原恵子さんのご指導で練習をした後、和気あいあいの内に終了しました。

料理交流会 7月25日(火) 参加者 日本人15名、外国人5名

食中毒予防と生活習慣チェックの話を聞いた後「夏バテ予防」の料理にとりかかりました。まず、ごま豆乳つゆ付きの冷やしそうめんから始めて、2品目のトマトと長芋の酢の物は、外国の方にも「これは何杯でも食べられそう」と大好評でした。又夏野菜のかき揚げは、油はねに注意しながらのエビと野菜の料理でした。最後のデザートは、キウイフルーツを使った冷たくてさっぱりとしたゼリーで、帰る時には皆さん心なしかすっきりと元気そうでした。

◎ 献立 ◎ ・そうめん(定番めんつゆ&ごま豆乳めんつゆ) ・夏野菜のかき揚げ ・トマトと長芋の酢の物 ・キウイかん



文化交流

バスハイク “UFOのまち羽咋、まんがのまち氷見を歩こう！”

6月11日(日) 参加者45名(日本人12名、外国人33名)

《行先》気多大社、宇宙科学博物館 コスモアイル羽咋、氷見のまち散策(忍者ハットリくんからくり時計、まんがロード、氷見市潮風ギャラリー、ひみ番屋街)

初夏の爽やかな青空に恵まれた日曜日、貸切バスでUFOのまち羽咋とまんがのまち氷見へと向かいました。道中、海越しに立山連峰を見ることができ、一行も故郷の海にまつわる話題で盛り上がりました。羽咋市では能登の一の宮・気多大社に参拝後、「コスモアイル羽咋」を訪問。参加者たちは本物の宇宙ロケットやカプセルの展示に感動したようで、思い思いに写真を撮り合い、交流を深めていました。

その後、氷見ではガイドさんの案内のもと、まんがロードや氷見市潮風ギャラリーを見て歩き、日本を代表するポップカルチャーに触れたひと時となりました。



書道体験 7月9日(日)

参加者 日本人9名、外国人12名

七夕にちなみ、書道の体験をしました。初めて筆を持つ参加者も多く、慣れない筆使いと墨に奮闘しながら先生の指導のもと「平和」や「友好」などの作品を仕上げました。

最後に、短冊に思い思いの願い事を書いて笹の葉に吊るし、参加者同士和気あいあいと交流を深めることができました。

色とりどりの七夕飾りは華やかで、夏の訪れを感じられる体験となりました。



国際教養

ディスカバー富山

◇ 5月20日(土) 参加者33名

今回訪れたのは、駅北の閑静な住宅街にある楽翠亭美術館です。真夏に近い暑さにもかかわらず予想以上の28名の日本人と5名の外国人ゲストが集まった。

学芸員の方の説明を講座員が一生懸命英訳していた。展示物はもちろん素晴らしかったが、広大な庭園は高い木々に囲まれ、市街地にいることが信じられないほどで、その雰囲気魅せられた一行は予定をオーバーし、12時過ぎに同館を出ることになった。

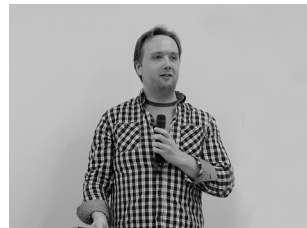


多国言語文化交流クラス

◇ ベルギー & オランダ語

4月1日(土) 講師 Mr. Jeffrey Vanhoutte (ベルギー出身)

ベルギーは、オランダ語の一種であるフラマン語を話す北部のフランデレン地域と、フランス語を話す南部のワロン地域とはほぼ二分されるが、ドイツ語を公用語とする地域もある。各々が独立していて融合されていないことに驚いた。同じく複数の言語を話すスイスでは、公的な場所は必ず4つの言語で標記されバイリンガルをめざしているが、ベルギーでは必要としていないようだ。オランダ語系住民とフランス語系住民の対立(言語戦争)が要因のようだ。講師のジェフリーさん自身、フランス語もドイツ語も話さない。英語が堪能でも、母語の言語を必要とせず会話できるのは意外だった。



◇ デンマーク & デンマーク語

6月10日(土) 講師 Ms. Rikke von Barm

世界一幸せな国として有名であるが、国民はその実感があまりないようで、25%の高い消費税を払っていても個人負担がフェアで、必要なときに必要なものが得られるという実感はあるようだ。医療費は無料、教育も小学校から大学まで無料、失業保険も4年間現役時代の90%が保証される。女性の社会進出も進んだ国で、男性が長期間の育児休暇を取得するのも普通のこと。同じ裕福な国々のドイツとスウェーデンの間に位置している為か、野心的でないから失望することもなく満足しているだけというのが実情のようだ。



◇ フランス & フランス語

7月1日(土) 講師 Ms. Lisa Marconato / Mr. Martial Sénéchal

東部ロレーヌ地方出身のリザさんと、西部ブルターニュ地方出身のマールシャルさんが、それぞれの出身地域の歴史や名物料理、お祭りなどについて話してくれました。同じフランスでも東と西とは、まるで異なる食文化に農業大国フランスを実感しました。東部のサンニコラのお祭りやクリスマスマーケットのお話も興味深かったです。中でも印象的だったのは、オコジョの逸話です。狩りで追われている途中、水たまりに出くわした際、汚れることより猟犬にかみ殺されることを選択した潔さをたたえて、「けがれるより死を」がブルターニュ地方のモットーになったそうです。

本場のフランス語を聞きたいという参加者もいたのではないかと思います。お二人の一生懸命な日本語での説明に好感が持てました。



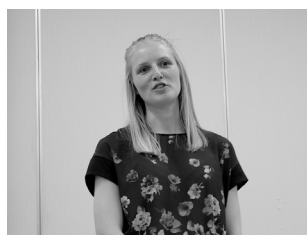
英語スピーチと討論の会例会



◇ 4月11日(火)
Speaker: Mr. Justin Penree
(米国出身)
Topic: "New York State"



◇ 5月9日(火)
Speaker: Ms. Homokos Anne-Marie
(ルーマニア出身)
Topic: "Romania"



◇ 6月13日(火)
Speaker: Ms. Rikke von Barm
(デンマーク出身)
Topic: "Kingdom of Denmark"



◇ 7月11日(火)
Speaker: Ms. Kathy Kuwahara
(米国出身)
Topic: "A Whole Country with Culturally Different Parts!"

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（8月～12月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
8月5日(土) 16:00～21:00	富山まつり 「越中おわら踊り」	50	城址大通り	合同	300円	会員・外国人
8月26日(土) 10:30～12:30	日本語ボランティア登録者研修会	30	当センター	---	会員無料 一般300円	会員・一般
8月29日(火) 10:00～13:00	料理交流会（2） 「韓国＆日本料理」	20	富山市中央保健 福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
9月2日(土) 17:00～18:30	韓国文化理解講座	20	当センター	合同	会員無料 一般300円	会員・一般
9月9日(土) 13:30～15:00	総合防災訓練事前研修会	50	当センター	合同	無料	会員・一般
9月9日(土) 15:15～16:45	多国言語文化交流クラス 「インドネシア＆インドネシア語」	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
9月11日(月) 18:30～20:00	ブラジル音楽で ポルトガル語を鍛えよう！	15	当センター	---	会員無料 一般300円	会員・一般
9月12日(火) 18:30～20:00	英語スピーチと討論の会 Speaker：Mr.Mathieu Glacet	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
9月30日(土) 9:00～12:00	総合防災訓練参加	50	アルペン スタジアム	合同	無料	会員・外国人
10月5日(木) 10:30～12:30	日本語ボランティア 養成講座秋クラス開講	---	当センター	国際教養	無料	会員
10月7日(土)	中学生英語講座開講	30	当センター	---	無料	---
10月16日(月) 18:30～20:00	ブラジル音楽で ポルトガル語を鍛えよう！	15	当センター	---	会員無料 一般300円	会員・一般
10月28日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア 養成講座後期開講①	---	当センター	---	無料	会員
10月29日(日) 13:30～15:00	日本茶体験	30	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
11月12日(日) 10:30～16:30	国際交流フェスティバル 2017	---	富山駅構内 ・CiCビル	合同	---	---
11月25日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア 養成講座後期②	---	当センター	---	無料	会員
11月	国際交流TCAカレッジ (映画上映)	70	当センター	総務企画	無料	会員・一般
12月26日(火) 10:00～13:00	料理交流会（3） 「お正月の料理」	20	富山市中央保健 福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人

休館日（8月～12月） 9月19日(火)、10月17日(火)、11月21日(火)、年末年始(12/29～1/3)、8月は休館日なし
※行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/> でご確認ください、協会までお問合せください。

委員会委員募集

6つの委員会（総務企画、姉妹友好都市、文化交流、ボランティア、広報・組織強化、国際教養委員会）に分かれて活動しています。各委員会では委員を募集中です。

東日本大震災義援金募金に 引き続きご協力をお願いします。

義援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまからお寄せいただいた募金は、日本赤十字社を通じて復興支援に役立てていただきます。引き続きご協力をお願いします。
(ボランティア委員会)

編集後記

先日、仕事で外国人のお客様が来ることになり、富山駅周辺のレストランマップを探したら、ほとんどが文字（日本語）だけ。写真は寿司屋か居酒屋ばかり。インターネットを使えば簡単に情報が手に入る時代ですが、紙の地図は意外と不便だと感じました。外国人日く、「ファミレスはメニューに写真が多くて便利！」だそうです。（穴戸）